

赤磐市の生物多様性地域活性化活動

2015年6月、赤磐市在住の波田善夫岡山理科大名誉教授を委員長とした赤磐市野生動植物調査会を立ち上げ、赤磐市の「生物多様性地域活性化」に取り組んでいます。最初の3年間で「赤磐市生物目録」を作成、次の3カ年で、12箇所のホットスポットを選定、市民参加型の調査、自然観察会を実施して生物相に関する知見を充実させました。

2022年度から①地域性を活かした農業、工業、商業、観光の効率性・適切性を探り、②地球温暖化と動植物や農産物生産環境の変化などに対応してゼロカーボン都市の実現を図るための活動を実施しています。

同時進行で③自然と人間の共生をとおして自然環境を守り育てる人材育成に精力的に取り組んでおり、その効果が現れ始めています。

豊かな生物の多様性を保全し、その恩恵を将来にわたって享受できる自然と共生する社会を実現することが、市民生活の保全、快適性の向上のためには必須であると思っています。そのためには市民や事業者、行政が互いに取り組むべき課題・目標を共有し、連携を強化することにより、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する施策を総合的・計画的に推進する「生物多様性地域戦略」の策定が求められています。

赤磐市野生動植物調査会が今までの知見を生かし、2025年度より赤磐市の「生物多様性地域戦略」策定に向けて協力しています。

主な活動主体	赤磐市野生動植物調査会 赤磐市環境課	
保護動植物の位置付け	岡山県版レッドデータブック2020 絶滅危惧I類：絶滅危惧II類：準絶滅危惧種	
活動状況（写真提供：赤磐市野生動植物調査会）		



シンポジウム
赤磐市の自然を考える



2024 おかやま環境ミーティング



自然観察会



12ヶ所ホットスポット紹介
内：石上布都魂神社